

# 依存症相談拠点の取組について

## 依存症相談拠点の取組について

### 1 依存症相談拠点

○依存症対策総合支援事業実施要綱（平成29年6月13日障発0613第2号）に基づき、平成31年4月より、都立（総合）精神保健福祉センターを東京都における「依存症相談拠点」として設定

相談機関名	電話番号	電話以外の問い合わせ
<b>中部総合精神保健福祉センターこころの電話相談</b> 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前9時から午後5時まで	03-3302-7711	面接相談は必要に応じて実施（予約制）
<b>多摩総合精神保健福祉センターこころの電話相談</b> 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前9時から午後5時まで	042-371-5560	面接相談は必要に応じて実施（予約制）
<b>精神保健福祉センターこころの電話相談</b> 月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く） 午前9時から午後5時まで	03-3844-2212	面接相談は必要に応じて実施（予約制）

### 2 相談拠点での取組

項目	概要
依存症専門相談支援事業	専門相談員による本人・家族等を対象とした相談（電話・面接）
依存症支援者研修事業	保健所、医療機関関係者等を対象とした研修の実施
普及啓発・情報提供事業	ホームページ、リーフレット等による情報発信
依存症の治療・回復支援事業	本人向け回復支援プログラム等を実施
依存症者の家族支援事業	家族講座の実施
連携会議運営事業	関係機関による連携会議の開催

## 依存症相談拠点の取組について

### ① 相談・回復支援の取組

#### ○ 精神保健福祉相談

- ・ ころの健康等に関する本人や家族等からの相談を実施
- ・ 相談は電話のほか、必要に応じて面接も実施

#### ○ 依存症家族教室

- ・ 家族が依存症についての正しい知識を学び、依存症者本人への適切な対応を獲得すること、家族自身が回復することを目標に実施

#### 【家族教室プログラム】

1 依存症とは	本人や家族の状態をどのように理解すればよいのでしょうか？ 依存症という病気とは？
2 依存症と医療の役割	アルコール・薬物などの摂取によって身体や脳に何が起きているのでしょうか？ ギャンブルの場合は？ 病院での治療とは？ 依存症治療に携わる医師からお話を聞きます。
3 依存症とお金の問題	依存症とお金の問題について考えます。 家族はどう捉え、対応したらよいのでしょうか。専門家にお話を聞きます。
4 家族の対応	あなたとご本人との関係を振り返り、依存症が家族に及ぼす影響、適切なコミュニケーションについて考えます。
5 回復とは	毎回、回復者や自助グループのゲストを招き、メッセージを届けていただきます。 (断酒会・ダルク・ナラノン・ギヤマン・マック他)
6 精神科医師によるQ & A	ご家族からの質問に添って、精神科医師から解説・回答をいただきます。

(多摩総合精神保健福祉センターHPより)

#### 【依存症関連の新規相談者数推移（来所）】

(人)

区分	H27	H28	H29	H30	R1
ギャンブル	31	32	49	59	68
アルコール	56	42	36	47	40
薬物	48	33	52	63	41
その他	11	16	28	17	16

(令和2年版多摩総合精神保健福祉センター事業概要より)

#### ○ 回復支援プログラム

- ・ 依存症の当事者を対象に認知行動療法に基づいた回復支援プログラムを実施

#### 【TAMARPP（再発予防プログラム）】

### TAMARPP とは？

テキストを使った、アルコールや薬物、ギャンブル等をやめ続けるためのプログラム（再発予防プログラム）です。

このプログラムは、下記の全8回コースで、どの回からでも参加できます。

1. アルコールや薬物、ギャンブル等が「脳」に与える影響
2. 思考停止法
3. 回復の地図 - 回復期によく表せる「問題」とその解決法
4. 自助グループと12ステップ
5. 思考・感情・行動
6. 再発を防ぐために - その1
7. 再発を防ぐために - その2
8. 強くなるより弱くなる? など

このプログラムでは主に次のようなことをめざします。

- ① 再発の危険信号について学び、その合図に自分で気づけるようになる。
- ② 「使いにくい」気持ちが出てきたとき、どうしたら良いか、具体的な方法を身につける。
- ③ アルコールや薬物、ギャンブル等が入りにくい自分なりの過ごし方を計画し、やってみる。
- ④ 回復の道のり全体を理解し、これからやってくる様々な困難と、その筋力となるものについて学ぶ。

(多摩総合精神保健福祉センターHPより)

## 依存症相談拠点の取組について

### ② 普及啓発の取組

#### 【リーフレット】



#### ○リーフレットの作成・配布

(ギャンブル等依存症～その理解と回復のために～)

- ・ ギャンブル等依存症に関する普及啓発を目的としたリーフレットを作成・配布（※令和元年度改訂を実施）
- ・ 関係機関等へ配布するほか、HPにも掲載し、広く情報を発信

(都立（総合）精神保健福祉センターHPより)

#### ○依存症対策普及啓発フォーラム

- ・ 都内在住・在勤・在学の方を対象に依存症対策普及啓発フォーラムを開催（令和元年11月13日）

#### ・実施内容

##### ①基調講演

- ◆ 女性の回復に必要な3つの条件  
～女性の生き方を応援するには～
- ◆ 都民に知ってほしいアルコールと依存症についての知識
- ◆ 薬物依存からの回復を支えるために  
～私たちにできること～
- ◆ ギャンブル等依存症への集団療法 C-GAP の試み

##### ②トークセッション

#### 【依存症対策普及啓発フォーラム案内】

令和元年度 東京都依存症対策普及啓発フォーラム

## あなたに伝えたい、 依存症のこと

参加無料

令和元年 **11月13日** 水  
13:00～16:40 (開場 12:30)

星陵会館 ホール 東京都千代田区北千代田 2-16-2  
東京メトロ千代田線千代田駅 南口より徒歩3分

400名 (要申込・抽選・10月16日(水)締切)

※抽選に当たらない場合は11月13日(水)当日の抽選となります。

---

**第1部 基調講演 13:00～**

女性の回復に必要な3つの条件～女性の生き方を応援するには～ 講師：山本アツシ（アット・アット・アット）  
 薬物依存からの回復を支えるために～私たちにできること～ 講師：アサヒクリニック 院長 新田 健一 氏  
 ギャンブル等依存症への集団療法 C-GAP の試み 講師：中野総合精神保健福祉センター 副所長 菅野 誠 氏

**第2部 トークセッション～回復を支えるために～**  
 司会：山本 啓子 氏 講師：山本アツシ 氏、山本 啓子 氏、山本 啓子 氏

申し込み方法：FAX・E-mail・電話受付（1人1部）のいずれかにてお申し込みください。  
 フォーラム参加費：無料（当日受付）  
 申し込み先：〒111-0052 東京都千代田区千代田 1-5-5 DKK 千代田ビル 3F  
 FAX: 03-5835-0296 E-mail: soc@b1-waka.net https://www.waka.net/tokyo191113/

---

**お問合せ**  
 中野福祉センター 上野フォーラム 講座事務局 TEL: 03-5835-0388  
 本館について……東京都立中野総合精神保健福祉センター 総務課 TEL: 03-3302-7702

東京都福祉保健局

# 依存症相談拠点の取組について

## ③ 地域の関係機関との連携の取組等

### ○東京都依存症関連機関連携会議（令和元年12月17日開催）

- ・ 依存症対策総合支援事業実施要綱（平成29年6月13日障発0613第2号）に基づき、依存症患者等に対する包括的な支援を実施するため、地域における依存症に関する情報や課題の要求等を目的とした関係機関による連携会議を開催
- ・ 医療機関や保健所、区市町村、民間団体・回復施設、保護観察所等の依存症者を支援する団体等で構成し、各主体の取組や情報共有等図り、関係機関の連携の構築を図る

※令和元年度は中部総合精神保健福祉センターを中心に開催（令和2年度は都内3か所の精神保健福祉センターそれぞれの開催を予定）

### ○技術援助

- ・ 精神保健及び精神障害者の福祉と医療の向上に資することを目的として、精神保健福祉行政を担う行政機関（保健所・保健センター・障害福祉主管課等）、精神保健福祉行政と密接に係る機関（区の福祉事務所、各医療機関、就労機関、教育機関、警察・保護観察所等の司法機関等）を支援
- ・ 来所による相談・検討会を実施するほか、関係機関への出張や電話等でも対応
- ・ 依存症関連の技術援助実績（令和元年度）：226件（令和2年版事業概要より）※アルコール等の他のアディクション含む

### ○研修

- ・ 保健所、区障害福祉主管課、福祉事業所、障害福祉サービス事業所、その他の関係機関等で精神保健福祉業務に従事する職員等に、専門的研修などの教育研修を行い、技術的水準の向上を図ることを目的に実施
- ・ アディクションをテーマにした研修において、ギャンプル等依存症の講習も実施

#### 【令和元年度実績】

区分	研修名	講師	参加者数
中部総合精神保健福祉センター	アディクションシリーズ2 ギャンプル依存症の現状を理解し支援につなぐ	独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 副院長 松下 幸生 氏	207人
多摩総合精神保健福祉センター	依存症問題研修④ ギャンプル依存について	医療法人社団よしの病院 副院長 河本 泰信 氏	44人

（令和2年版事業概要より）